

浸水から街を守る『いろは呑龍トンネル』

いろは呑龍新聞第 16 号～平成 29 年 3 月号～



「いろは呑龍トンネル」南幹線の延長が 2.5 km を超えました。

「いろは呑龍トンネル」南幹線を掘削してから約 1 年が経過し、トンネル延長が長くなってきました。トンネル延長が長くなるごとに、資材の運搬やトンネル内の移動に、時間を要することとなります。



南幹線の掘削を開始 (トンネル掘削機)	トンネル内 (資材運搬車)	トンネル内 (動力設備等)	トンネル内の温度 (温度 32 度、湿度 32%)
			
洛西浄化センター内の発進立坑から掘削を開始しました。(平成 28 年 2 月 25 日)	トンネルの延長が延びると、資材の運搬に時間を要します。	トンネル内はシールド掘削機の動力設備等により、高温になっています。	トンネル掘削機付近の温度は、冬でも夏のような暑さ(約 30 度)です。

平成 28 年度も多数の来訪者が、いろは呑龍トンネルを見学されました。

平成 28 年度も多数の来訪者が、全国及び海外から来訪され、いろは呑龍トンネルを見学されました。

11 月 19 日には、府民向けの見学会(京と地球の共生府民会議)も開催しました。

年間約 40 回の見学会や視察がありましたが、紙面の都合上、抜粋して写真を掲載しています。

立命館大学 (6 月 24 日)	京都大学 (8 月 5 日)	全国下水道主管課長会議 (10 月 21 日)
		
勝山中学校 (11 月 11 日)	京と地球の共生府民会議 (11 月 19 日)	福岡市・ミャンマー視察 (12 月 2 日)
		

<工事の進捗状況>

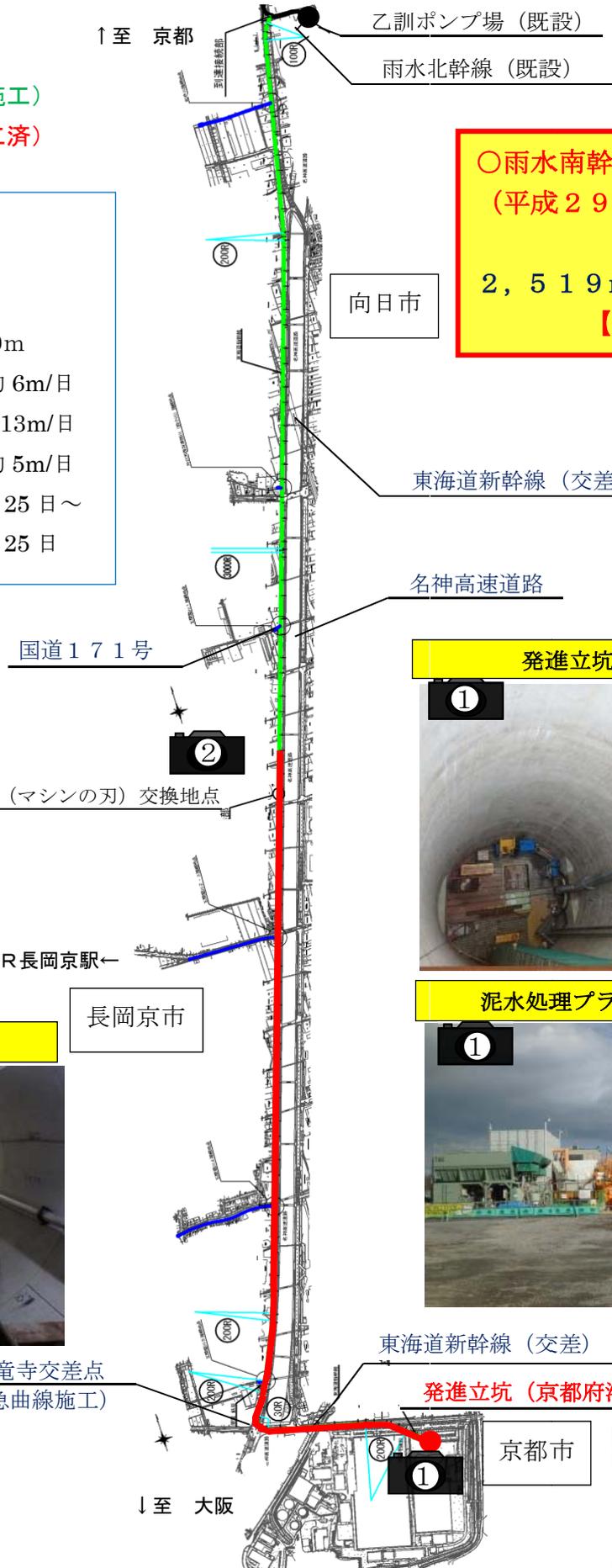
いろは呑龍トンネルは、国道171号を北上しています。

【雨水南幹線計画図】

- 雨水南幹線 (未施工)
- 雨水南幹線 (施工済)

○雨水南幹線の概要

掘削延長：4,069m
 内径：3.5m
 土被り（深さ）：約20m
 掘進速度 初期 約6m/日
 本掘進 約13m/日
 到達 約5m/日
 工期：平成27年3月25日～
 平成31年3月25日



○雨水南幹線の掘進状況
 (平成29年3月6日現在)

2,519m / 全長4,069m
 【 62% 】

発進立坑内の状況



泥水処理プラント (全景)



トンネル内部の状況



発進立坑 (京都府洛西浄化センター内)

